



「スポーツツーリズム」の核となる
2つの拠点が動き出した！

「城の湯やすらぎの里」では、温泉センター周辺に「アウトドアパーク」を整備し、4月にオープンを迎えます。また、交流人口の増加を目指し誘致した「(仮称)とちぎフットボールセンター」の整備方針が決定しました。

「スポーツツーリズム」の中心的役割を担う2つの施設の整備内容について詳しくご紹介します。

城の湯やすらぎの里
温泉付きアウトドアパーク始動



特集

スポーツツーリズムの
新拠点を創る

大規模リニューアルの全容はこれだ!!

健康づくり機能に加え、新たにアウトドア機能を追加！多様化する旅のニーズに応える「スポーツツーリズム」の拠点として、4月から本格稼働!!

温泉センターをメインに、ふれあい館やグラウンド・ゴルフ場などがある「城の湯やすらぎの里」は、福祉・健康増進施設として位置付けられてきました。

今回のリニューアルは、既存施設の強みを生かしつつ、アウトドアに特化した機能を追加することにより、新しいターゲットに対し集客力の向上を図ることを目的に行いました。

具体的には、アウトドアと健康づくりの施設を併せ持つハイブリッドな拠点として、スポーツツーリズムの中心的役割を担うことで、城の湯やすらぎの里を訪れた観光客を地域に循環させることが可能になり、地域経済への波及効果が高まることが期待されます。

本号では、4月にオープンする新たなアウトドア機能を中心に紹介します。

A 自転車の楽しみいろいろ!

自転車をレンタルして、ふれあい館西側のマウンテンバイクコースをアクティブに楽しめるほか、宮川兩岸の堤防道路を通れば、自然を感じながらご家族でのんびりとサイクリングを楽しむことができます。



利用エリアは無制限なので、市内の観光スポットを周遊する楽しみ方もおススメです。

| | |
|------|--|
| 利用時間 | 9:00～17:00 |
| 利用料金 | 大人 700円/4時間 1,400円/8時間 小人 500円/4時間 1,000円/8時間 |
| 車種 | ファットバイク (大人・子ども用) |
| そのほか | ・5月には、電動ロードバイク、電動クロスバイクを導入予定!! (利用料金 1,000円/4時間 1,500円/8時間) |

B 自然地形の山道を走破!

ふれあい館西側にある山林をマウンテンバイクコースとして無料開放!

自然の起伏を生かした林間コースで、最近ブームとなっているファットバイクをレンタルして楽しむことができます。マイバイクでの利用も可能です。



| | |
|------|--------------------------------------|
| 利用料金 | 無料 |
| そのほか | ・コース付近の「案内看板」に記載された事項を遵守のうえ、ご利用ください。 |

C キャンプを楽しむ!

アウトドアと言えば、やっぱりキャンプ! 街の明かりを眺めながら、テント泊を気軽に楽しめます。



隣接したふれあい館にある炊事場を無料で利用できるほか、館内の洗面所が24時間使用可能です。

興味はあるけれど、テントを持っていないという方のために、貸出テントも用意していますので、お気軽にご利用ください。

| | |
|------|---|
| 利用時間 | 15:00～翌日10:00 |
| 利用料金 | 1,200円/区画 |
| そのほか | ・炊事場を無料で利用できます。 ・利用休止期間/11月1日～3月31日 ・テントなど、キャンプ用品の貸し出しも行っていきます。 |

D RVパークで快適車中泊!

車の旅をより安全・安心・快適に楽しんでもらうための車中泊専用駐車場を整備。専用の給水設備や区画ごとに給電設備があるので、快適に過ごすことができます。



| | |
|------|--|
| 利用時間 | 15:00～翌日10:00 |
| 利用料金 | 2,000円/区画 |
| そのほか | ・駐車区画/8台分 ・給水、給電設備完備 ・炊事場を無料で利用できます。 |



E みんなでわいわい BBQ!



アウトドアの食事の定番と言えばバーベキュー! キャンプ場・炊事場と隣接してるので、準備も片付けも楽チンです。近くに農産物直売所があるので、新鮮な地元野菜を調達し、おいしく食べることができます。

| | |
|------|---|
| 利用時間 | 9:00～21:00 |
| 利用料金 | 200円/基 (150分) |
| そのほか | ・バーベキュー炉/7基 ・炊事場を無料で利用できます。 ・直売所営業時間/9:00～16:00 |

F 屋内炊事場が使える!

ふれあい館内に、キャンプ場・RVパーク・BBQ炉を利用する方が、無料で使える屋内炊事場を新たに整備。屋外から靴を履いたまま直接ウォークインすることができるので、とても便利です。

G G・Gで汗を流そう!

これまでのグラウンド・ゴルフ場が面積を拡大してリニューアルオープンします。キャンプ場と敷地を共有することで、2コースの設置が可能になりました。

| | |
|------|----------------------------|
| 利用時間 | 10:00～16:00 |
| 利用料金 | 個人 100円/時間 団体 1,000円/時間 |
| そのほか | ・2コース設置可能です。 |

H 温泉で疲れを癒やそう

いろいろなアクティビティを楽しんだ後は、温泉にゆっくり入って、1日の疲れをリフレッシュしましょう! 温泉センターの利用時間・料金、そのほか各種イベントなどの詳しい情報は、23ページをチェック!!

ここで紹介した施設の利用受付は、温泉センターで行います。予約も2カ月前から受け付けていますので、ぜひご利用ください。
予約・問い合わせ/温泉センター ☎(44)1010

整備方針決定!!

民間活力の導入による、本市初の「民設民営」という新たな整備手法で、「スポーツツーリズム」の拠点、健康・生きがいつくりの拠点として整備を推進!

平成 29 年 12 月、(仮称)とちぎフットボールセンター(以下、フットボールセンター)の施設整備と運営を「NPO 法人たかはら那須スポーツクラブ(以下、たかはら那須)」に委ねることを市議会 12 月定例会で表明しました。

フットボールセンターの誘致では、これを整備するうえで、「健康・生きがいつくり、防災拠点など複合的な機能を持つ、まちづくりの拠点施設」をつくるという趣旨のもと、オール矢板による誘致組織を立ち上げ署名活

動を展開し、市内外から約 32,000 人もの署名が集まりました。そして、熱心な誘致活動の結果、平成 28 年 2 月に県サッカー協会から候補地の選定を受けました。

フットボールセンターを市民の皆さまに喜んでいただけるような、また、市外からも利用者が訪れ、市の活性化が図れるような施設とするために、民間活力の導入を念頭に整備方針を慎重に検討してきました。

本号では、これまでの経緯や整備方針の概要についてお知らせします。

整備方針決定までの経緯

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| H27. 7 | 県サッカー協会が、「フットボールセンター」整備構想をまとめ、県内自治体に提案 | H29. 6 | 民間活力導入可能性調査の結果公表 「公設公営」の場合と「指定管理者制度」・「DBO」・「PFI」(※)での削減率等の試算結果公表 ※指定管理者制度…運営管理を民間が行う DBO…施設の「設計+施工+運営管理」を民間が行う PFI…施設の「設計+施工+運営管理+資金調達」を民間が行う |
| 8 | JT 倉庫跡地を候補地とすることを表明 | 6 | たかはら那須から「民設民営」でフットボールセンターの施設整備および業務運営を行う事業計画の提案を受ける |
| 10 | JT 倉庫跡地を 3 億 700 万円で取得 | 11 | (株)あしぎん総合研究所に委託し事業計画・収支内容の検証を行った結果、検討すべき課題はあるが、たかはら那須提案の計画は実現可能性がある」と報告を受ける |
| 11 | 誘致市民の会設立 市長、市議会正副議長等により要望活動開始 | 12 | たかはら那須に、10 年間の土地使用貸借と施設等の固定資産税相当額を補助することにより、施設整備と運営を委ねることに決定 |
| 12 | 「フットボールセンター整備に関する基本計画書」を県サッカー協会に提出 | | |
| H28. 2 | 県サッカー協会が、「矢板市」と「小山市」の 2 か所を候補地として選定すると発表 | | |
| 8 | 県サッカー協会の補助金の算定誤り等により、市の負担額が 1 億 500 万円増額することが判明 | | |
| 9 | 市の負担額増に伴い、整備内容の見直し、民間活力導入可能性の検討を開始 | | |

当初計画とたかはら那須提案の整備内容の比較

たかはら那須に施設整備を委ねることで、補助金等の財源を除いた市の実質負担額は、サッカー場を 3 面から 2 面にするなど、整備規模の縮小はありますが、約 10 億円から約 1 億円となり、約 9 億円の負担軽減となるほか、年間 3,000 万円かかるかとされていた管理運営費もほぼゼロとなります。

今後、市とたかはら那須との間で、施設の管理区分や土地の使用貸借など詳細を協議し、議会の承認を得るなどの手続きを経て、最短で来年 4 月のフットボールセンターオープンを予定しています。

| 整備費用等 | 当初計画 | たかはら那須の計画 | 変更点 |
|-----------------------|---------------|-----------|---------------|
| 整備面積 | 約 4.3ha | 約 2.9ha | ▲約 1.4ha |
| 概算整備費用 | 11 億 6,000 万円 | 4 億円 | ▲7 億 6,000 万円 |
| 市実質負担額 (整備費用-補助金等) | 10 億 200 万円 | ※ 1 億円 | ▲9 億 200 万円 |

※市が行う、駐車場・外構・フェンス・ゲート整備等の費用

| 整備内容等 | 当初計画 | たかはら那須の計画 |
|---------------------|--------|-----------|
| 天然芝サッカー場 | 1 面 | — |
| 人工芝サッカー場 (夜間照明付) | 2 面 | 2 面 |
| クラブハウス | 1,192㎡ | 約 400㎡ |
| 駐車場 | 211 区画 | 検討中 |



※イメージ図のため、実際とは若干異なります。

検討課題：フットボールセンター整備で利用しない残り約 1.4ha の土地をどう活用していくか？

誘致活動の際に、多くの方に賛同いただいた「健康・生きがいつくり、防災拠点などの複合機能を持つ、まちづくりの拠点施設」をつくることの趣意を尊重し、この区画一帯を「矢板市版総合スポーツゾーン」と位置付け、スポーツツーリズムを推進する拠点として、フットボールセンターと一体的に活用できる施設の整備を検討します。

フットボールセンター同様、「民設民営」による施設整備を検討することにより、市民のみならず、近隣市町住民を利用対象に見据え、「健康増進」機能も備えた広域的・複合的なエリアづくりを官民協働で目指していきます。今後、整備方針や内容等が決まり次第、広報紙や市ホームページでお知らせします。

